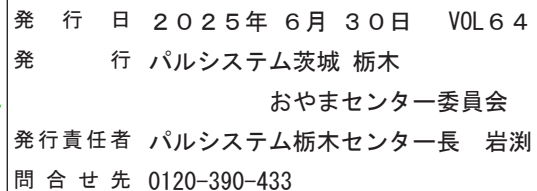


みんなでパル推し☆うきうきパル活

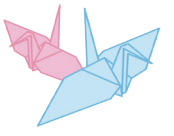


1



5/12
開催報告

世界のトイレと衛生について学ぼう



テーマ別組合員活動「平和国際交流」とのコラボ企画を開催しました。世界の衛生環境について、茨城県ユニセフ協会と（株）LIXILの方々とZOOMでお話を伺いました。今まで知らなかった支援活動について知ることができました。また、現在の世界と日本の状況の違いを痛感しました。これからも支援活動に目を向けていけたらよいと思いました。

ユニセフ（UNICEF・国際連合児童基金）について

第二次世界大戦で厳しい生活を強いられた子どもたちへの支援のため、1946年に設立されました。現在は子どもの権利を擁護する主要な機関として、支援活動を行っています。

日本ユニセフ協会について（1955年創立）

世界33の先進国・地域にあるユニセフ国内委員会のひとつです。ユニセフとの「協力協定」のもと、日本国内において民間で唯一ユニセフを代表し活動しています。

子どもの権利条約4つの条約とは・・・

- ・差別の禁止（差別のないこと）
- ・子どもの最善の利益（子どもにとって最も良いこと）
- ・生命、生存及び発達に対する権利
（命を守られ成長できること）
- ・子どもの意見の尊重（意見を表明し参加できること）

参加者の感想

- ・子どもの権利条約についてよく知らなかった ・守られるべき子どものためにユニセフの活動を応援していけたらと思う
- ・日本が過去に三度も、ユニセフのお世話になっていたことは知らなかったので驚いた
- ・今後ますますユニセフの活動の重要性が増すと思う ・世界で助け合いが行われている活動は本当に素晴らしいと思った
- ・ユニセフとLIXILがパートナーシップでトイレなどの支援をしていることを初めて知った
- ・日本のトイレ環境が改めてありがたいと思った ・現地製造と現地供給は、理に適っている良い取り組みだと思う

～世界中にトイレと手洗いを～

（株）LIXIL

LIXILとユニセフは2018年から、世界の衛生課題の解決に向けて共同プログラムを実施しています。持続可能な衛生市場を構築できるように支援しています。世界では上下水道の整備が遅れており、日本では当たり前の水洗トイレの設置が難しい地域がたくさんあります。このような地域の人々に安全で衛生的なトイレ環境を提供するのが、開発途上国向けトイレシステム「SATO」です。



《SATO トイレシステムとは》

- ・ニーズに沿った設計
- ・生活の向上 ・雇用創出
- ・設置、使用が容易 ・節水
- ・手ごろな価格 ・耐久性が高い
- ・現地製造、現地供給



生産者（井上さん）と交流しました

参加者の感想

- ・今年は例年より3・4日遅いとのことで、咲いている花が少なかった後日、井上さん1人で作業することを考えると力になれず残念
- ・自然を相手に作業するのは大変だと痛感した
- ・花は下向きに咲くので覗き込んで確認、噴霧作業をするので腰や首に負担がかかった



（有）ジョイファーム小田原 センター委員会のメンバーが★ 栃木県さくら市 キウイフルーツ農園 受粉体験へ行きました！！

2023年11月に組織合同20周年企画として「ジョイファーム小田原」に産地交流へ行きました。それがきっかけとなり、私たちセンター委員にも何かできないか、という思いから交流が始まりました。去年は天候不良のため中止になってしまった受粉作業に5月26日参加しました。直接産地の現状を知る貴重な体験なので、これからも協力していけたらと思います。

キウイの受粉には

シダの胞子を使用する
花粉の増加、色付けの役割があり、人口受粉した花に目印になるので作業効率上がる（黒く色づく）

雄花・雌花 わかるかな？



受粉の様子です



ヒント

- 雌花・白い柱頭がある
- 雄花・雌花より1週間ほど早く開花する
- ・たくさんの花粉がついている

答え 左・雌花 右・雄花